

6年1組 「にじ プロジェクト for ミツ小90周年」

かがやきの学習を始めるにあたって、自分たちで学びたいことを見つけるために学校たんけんや調べ学習を繰り返しました。話し合っていく中で6年間過ごした三ツ沢小への恩返し、思い出、ほたる、これまでの先輩方が残してきた伝統などを目に見える形にして達成感を味わいたいとまとまりました。また、来年の90周年に向けて思いを残していけるのではないかとともにつながっていきました。自分たちで計画を立て、7月にはB棟とC棟の2階をつなぐ渡り廊下のペンキ塗りをしました。



技術員の仲山さんに教えてもらった方法で一生懸命塗っています！



仲山さんに塗り方のコツを教えてもらっています！



6年2組 「6年2組の感謝物語～三ツ沢羽子板市～」

今年のかがやきの時間で大切にしたいことを話し合い、「6年間、学習や生活でお世話になった家族、学校や地域の方々への感謝の気持ちを何らかの形で伝えたい！」「90周年に向けて、三ツ沢の魅力を残したり伝えたりすることで、学校や町の人々が喜んでくれるのでは…。」と考えがまとまりました。その方法として、東京見学でも訪れた浅草の「羽子板市」をモチーフに、羽子板に三ツ沢の魅力を描き、解説とともに展示することにしました。羽子板の板は地域の木材店からご協力をいただいたり、羽子板づくりの専門の方にインタビューをしたりと、人とのつながりを大切に活動を進めています。一人一羽子板だけでなく、全員で力を合わせ、大型羽子板も制作予定です。

6年3組 「やすらぎ池再生大作戦」

子どもたちが入学したときから、当たり前のようにあったやすらぎ池。そんなやすらぎ池も老朽化のため水が抜けてしまうようになったため、昨年度1年をかけて修繕の工事を実施しました。そして、今年の4月にはオタマジャクシ達が学校に戻ってきました。ですが水がまたいつの間にか抜けていたり、水が濁ったり、落ち葉がたまったり…水が抜けてしまった池に落ちてけがをしまう子がいたという話を聞いて、「自分たちの手でやすらぎ池を再生したい」という思いをもつようになりました。

まずは、池の落ち葉をきれいに掃除して、オタマジャクシを保護するためのネットを除去することにしました。これから1年かけて、やすらぎ池をどのような池にしたいかみんなで見えを出し合って再生していきたいと思います。

6年4組 「ピースがピース 大作戦！！」

今年のかがやきの時間は、最高学年である6年生として、「三ツ沢小学校やまちのためにできることをしたい！」という思いをもってスタートしました。自分たちが1年間継続して人と関わりながら「かがやく」ことができることは何だろう…？と考えていく中で、学校のシンボルのひとつであるピースに関わる活動を考えました。飼育小屋をもっと過ごしやすい環境にするために野毛山動物園の方からアドバイスをもらったり、みんなにさらに親しんでもらえるようにアンケートをとったりしながら進めています。



野毛山動物園のクジャク担当の飼育員さんに色々教えてもらいました！

早速危ないと教えてもらった部分を補修しました！

